

(参考様式3)

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回東村山市子育て総合支援センター運営協議会				
開催日時	令和4年7月12日(火) 14:00~16:00				
開催場所	東村山駅西口サンパルネ コンベンションホール				
出席者 及び欠席者	<p>●出席者： (委員) 宇野会長、遠藤副会長、右田委員、林委員、山下委員、足立委員、平沼委員、柿沼委員、真島委員</p> <p>(東村山市子どもNPOユニット) 千葉子育て総合支援センター長 阿部施設長 吉田副施設長 磯部ファミリー・サポート・センター責任者 鈴木子育て情報等担当</p> <p>(市事務局) 【地域子育て課】田見課長、肥沼地域支援係長、尾崎主任</p> <p>●欠席者：高橋委員、稲森委員、風間委員</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由		傍聴者数	なし
会議次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委嘱状交付</li><li>2. 子育て総合支援センター長挨拶</li><li>3. 委員・職員紹介</li><li>4. 会長・副会長選任</li><li>5. 会議の公開方針について</li><li>6. 子育て総合支援センターの概要</li><li>7. 子育て総合支援センターの運営について ・令和4年度東村山市子育て総合支援センター事業計画</li><li>8. 意見交換</li><li>9. その他</li></ol>				
問い合わせ先	子ども家庭部地域子育て課地域支援係 電話番号：042-393-5111(代表) 内線3608 FAX番号：042-394-2270				

## 会 議 経 過

### 令和4年度第1回東村山市子育て総合支援センター運営協議会開会

○事務局

本日の協議会は9名の委員に出席いただき、「東村山市子育て総合支援センター運営協議会設置規則」第6条第2項の規定により成立することを報告する。

#### 1. 委嘱状交付

コロナ禍を踏まえ机上にて交付。

#### 2. 子育て総合支援センター長挨拶

委員の皆様におかれましては、本当にお忙しい中委員を引き受けてくださりありがとうございます。年に2回ほどではありますが、この場で直接色々な意見をいただけるということで大変嬉しく思っております。

新型コロナウイルス感染症の発生当初、2年前は、ファミリーサポートセンターは開所しておりましたが、子育てひろば（以下、ひろば）は閉鎖するといった事態がありました。しかし、ひろばもこの感染症についてウィズコロナを見据え、現在、午前中は予約制、午後は予約フリー、定員を設けながら運営しております。

本施設は、利用者の方、主に0、1、2歳の親子が多く、正にこのコロナ禍中に出産し育児を始められた方々が多くおります。コロナ禍以前のように、公園に遊びに行く、お友達と食事に行く等活動ができず、お子さんと二人きりで、長時間家庭の中で過ごしてきた方が多くいると危機感を持って受け止めています。スタッフ一同、出会いの場となるイベント、ちょっとした相談等、利用者の方の支援となるよう、運営してまいりましたが、委員の皆様それぞれの立場より、様々な角度からアイデア、忌憚のないご意見等をいただき、現場の活動に活していきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。

#### 3. 委員・職員紹介

##### 資料 1

委員、東村山市子どもNPOユニット職員、市事務局員による自己紹介。

#### 4. 会長・副会長選任

○事務局

設置規則第5条第1項の規定に基づき、会長及び副会長を委員の互選により定めていただく。立候補者または推薦があればご発言をお願いしたい。

○遠藤委員

前会長の宇野先生を推薦する。

一同拍手

○事務局

会長を宇野氏に決定する。副会長はいかがか。

○宇野会長  
遠藤先生にお願いしたいが、いかがか。

一同拍手

○事務局  
副会長を遠藤氏へ決定する。

## 5. 会議の公開方針について

○事務局  
資料2-1、資料2-2および資料2-3に基づき説明。

○会長  
会議に先立ち会議の公開方針について協議する。審議事項を勘案すると、公開の原則により、傍聴希望者があればこれを許可し、会議途中で傍聴希望者が来た場合も同様に傍聴を許可することしたいがいかがか。

～意見なし・異議なし～

○会長  
では、会議は公開とする。

○事務局  
傍聴希望者なし。

○会長  
会議の議事録および委員の情報の公表範囲についてはいかがか。

～意見なし・異議なし～

○会長  
では、事務局案を採用することとする。

## 6. 子育て総合支援センターの概要

○事務局  
資料3-1および資料3-2に基づき説明。

## 7. 子育て総合支援センターの運営について

### ・令和4年度東村山市子育て総合支援センター事業計画

○東村山子どもNPOユニット  
～資料4およびプロジェクターにて説明～

子育て総合支援センターは、HUGこどもパートナーズ（以下、HUG）と東村

山子育て支援ネットワークすずめ（以下、すずめ）より構成されている東村山市子どもNPOユニットが指定管理者として管理・運営を行っている。

ひろば事業をすずめ、ファミサポ事業をHUGが担っており、月に1回、連絡会を設けて年間の計画を立てる等の協議を行っている。この他に、白梅学園大学と市と三者で協定を結んでいるほか、外部関係団体と意見交換を行う本運営協議会が設置されている。

### ひろば・その他の事業

コロナ禍初期の頃より、おもちゃは消毒しやすいものを選びすぎり、ひろばの空間は密を防ぐような遊具の設置等、安心して過ごせるよう工夫をしております。また、利用時間、人数等についても、市と協議しながら新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に応じて、臨機応変に運営しております。

日々の子育てひろばの様子です。

避難訓練。実際の訓練だけでなく、例えばサラシー本で子どもをおんぶできる方法等役立つ情報をお伝えする回を設けるなど、毎月形を変え実施しています。

年齢別ひろば。0，1，2歳など月齢別に実施しており、同世代の親御さんが繋がるきっかけとなる、大変人気のあるプログラムです。

パパママ講座。年4回、土曜日に実施をしていますが、以前はママのみの参加が目立ちましたが、最近パパの参加者も増えてきています。講座の中でパパたちだけで話す時間があり、育児休暇の取り方等の情報交換や、ママと一緒にいる子育ての悩みについて話される方もいます。

双子ちゃんの日。双子ならではの悩みや、子育ての仕方について、先輩方からのアドバイスがとても参考になったり、安心した子育てに繋がっているとの声が多く寄せられています。

まめっちょさんのちょこっと預かり。ファミリー・サポート・センターとの連携事業です。お子さんを預ける理由は様々ですが、育児からちょっと解放された時間がお母さん方のリフレッシュに繋がっていると思っています。毎回キャンセル待ちが出る、とても人気の事業です。

ぐるりんぱ。1歳児対象の遊びの会です。この時期ならではの困り感に寄り添い、親御さん自身も、困っているのは自分だけでないといった気づきに繋り、安心を得ることができたといった声が寄せられています。行政で実施している類似の事業もあるので、今後も連携強化が図れればと考えています。

外遊び。コロナ禍でも安心して楽しめるプログラムの一つです。テントウムシひろばは、0歳から参加できる外遊びのプログラムで、参加者の親御さんは、自分の子どもより年上の子どもたちの姿を見ながら、今後我が子がどんなふうになっていくのかを感じ取ってもらえるプログラムです。2、3歳の外遊びの会、おむすびころりんも、息の長い仲間つくりにつながっている大人気の事業です。

ぽっかぽか。ころころの森に関わっている全ての方々を、ぽっかぽかさんと呼んでいます。折り紙を教えてくださいや、先輩のママ達が幼稚園について、ちょっとお話しをしてくれるなど、とても良い交流があります。自由に利用できるピアノをポッカポカさんが演奏し、ほっとできる時間を提供して下さることもあります。

ジュニアサポーター講座。市内の小学5年生から中学生を対象にした事業です。。講座は全3回、1回目は助産師さんから命の尊さを学び、2回目は赤ちゃんとの関わり方等を学び、3回目に実際ひろばでボランティア行うといった事業です。

ころころの森へ来られない人への支援。子どもを産んでから使う施設というだけでなく、産む前から、子どもと一緒に遊べる、相談できる施設があるといったこと、あらかじめ見てもらうことが安心して産み育てる支援につながると考え、こんにちはプレさんを今年度から実施する予定です。大切な事業の1つと位置付けており、市との連携を図っていききたいと考えています。

SNSの活用。コロナ禍以前は、毎月の誕生会を実施しておりましたが、コロナ禍で、利用を控える親子さんにも少しでも楽しんでもらえるように、Instagramでは誕生日会を配信しています。LINEを用いた情報発信や、YouTubuを活用しひろばでの感染対策の発信など、それぞれのSNSに適した配信を行っています。

出張広場。秋津地域の民家の1室で週1日実施しております。秋津地域は、ころころの森まで距離がある地域であるので、地域ならではの情報が得られる場、ほっとできる場所を提供できていると感じています。スペースが小さく、人数にも制限がありますが、利用者同士で譲り合うような風土ができています。

赤ちゃん登校日。地域との連携によって支えられている事業であるため、コロナ禍ではなかなか実施が難しい事業ではありますが、連携先である中学校の校長先生から、またぜひ一緒に実施したいといったお話もある、とても好評の事業です。このコロナ禍においても実施できる形を模索しています。

切れ目のない子育て支援、地域との連携、類似事業との連携など、なかなかコロナ禍で難しいところもあるのですが、工夫をしながら親子にとってよりよいひろば運営を進めていきたいと思っておりますので、皆様から色々なアイデア等をいただけたらと思います。どうぞよろしくをお願いします。

### **東村山市の子育て情報ナビ ころころネット**

開設当初からお母さんたち、当事者の目線で作られているコンテンツです。毎年更新をし、新しい情報を常に配信しています。

子育てに優しい大賞。地元の民間情報について知りたいといった声により始まった事業で、今年で8回目を迎えます。子育て世代の目線で地元のおすすめスポットを投票してもらう事業であり、コロナ禍以前は、おしゃれな飲食店が多かったのですが、昨年度は、外遊びのスポットや、近所の精肉店、野菜の無人販売、JAさんの新鮮館など、身近なところが票を集め、世相を反映した事業となっています。

ブログのコーナー。こちらもお母さん達に関わってもらっており、いろいろなイベント等に行ってもらい、その実体験をもとに掲載されている情報のため、読んだお母さん方たちが実際に行ってみよう、やってみようと思える情報が満載になっています。コロナ禍では、自宅内での過ごし方、近所の公園でこんな遊びをしたよといった記事も掲載されています。

昨年度は、ころころネットに関わるお母さんたちと一緒に‘東村山駅周辺の公共空間の活用や賑わい創出に向けてのワークショップ’に参加し、そらまち東村山では、地域に向けての発信を実施しました。

SNS・LINEの活用。現在800人程度の登録があり、ころころネットの情報ははじめ、他の子育て支援団体さんからのイベント情報掲載の依頼、市からアンケートの協力依頼を受けて配信しております。利用された団体からは、かなり反響があったとの声が寄せられています。

ママラジオ。コロナ禍で他の子育ての様子を知る機会が少なくなったとの声から、動画ではなくて、ラジオ感覚で気軽に聞ける内容をYouTubuで配信していま

す。トイレトレーニングや寝かしつけなど、3本配信しております。今年度も1、2本の作成する予定です

### **東村山市ファミリー・サポート・センター事業**

子育てを助けて欲しい方と援助できる方が地域で会員になり支え合うという地域相互援助活動です。活動状況は、昨年度は年間で2,500件程度、月平均212件程度でした。コロナ禍前は4,500件ぐらいあったので6割程度戻ってきていますが、依頼件数自体は減少しています。また内容に関しては多様化が進んでおり、調整はきめ細やかさが求められる状況になっています。

提供会員を養成する講習会では、保育士や保健師等の協力を得ながら、子どもとの遊び、子どもの発達、応急処置など多岐にわたる講座を実施し、何年も経験している提供会員さんに対してはステップアップ研修会を毎年1回行っており、昨年度は臨床心理士の先生による多様な家庭の支援のあり方に関して研修しました。

フォローアップ研修。昨年度から国より安全対策を強化するため、安全に関する講座を実施することが求められ、普通救命救急のフォローアップ研修を対象となる会員さんに実施しました。

ファミリー・サポート・センター事業での預かりは会員の家で実施されることが多いのですが、センターがころころの森の中にあるため、ころころの森で預かりたいとか預かって欲しいという声は多いです。

先ほど、ひろば事業からの報告にもありましたが、依頼会員さんの力をかりて、ころころネットメンテの時の保育を行う、まめっちょさんのちょこっと預かりを実施しております。大変好評であるため、今年度は引き続き実施したいと思っています。

最後に課題です。長年の大きな課題として、提供会員を増やすことと、もう一つ、コロナ禍により会員同士の交流の機会が失われ、会員同士の繋がりをどうつないでいくかに難しさを感じています。

## **8. 意見交換**

### ○会長

「こんにちはプレさん」事業は今年度から年4回実施とのことですが、どのように参加者を募集する予定か。応募を待つのか、積極的にアプローチをかけていくのかお聞きしたい。

### ○施設長

パパママ講座を実施した際も、市の関係所管課実施の両親学級の際に、ころころの森の案内と、パパママ講座の事業案内をしていただいたので、本講座についても仕組みを作ってアプローチをかけていきたいと思っています。

### ○A委員

現在、ころころの森を利用しています。子どもが8ヶ月ぐらいの時、市役所へ立ち寄った際に、ころころたまごから勧められて利用し始めました。もっと早くから知っていたらと思えるほど、ころころの森の存在には助けられています。母子手帳をもらう際にひろばの案内を一緒にもらっていたと思うのですが、妊婦の時は、出産後のことは後回しになる人が多いと思います。なにか記憶に残るような案内の

方法はないかなと思いました。

施設の利用について、コロナ禍中では、制限があってなかなか難しいと思いますが、食事については悩むことは多く、このひろばで他の人の様子から学べないかなと思います。

#### ○B委員

私も情報発信が行き届いてない面があるのかなと思いました。ひろばだよりを読み、やっぱりもっとアピールしても良いのではないかと思います。毎月は難しくてもなにかイベントがある際にでも市報を活用したりできないか。子育て世代ではなくても他の世代の方にも、もっと情報発信でき、もっと広まっていくと思う。先ほど紹介のあった、家事をしながらでも聞くことができるママラジオの事業も載せてもらいたいなと思います。

#### ○C委員

保育園内に設置しているひろばの運営に関わっています。先ほどからの話のように、ひろばに来ている利用者はもちろん、来ていない方へのアプローチについて気になりました。出かける場所を求めている親御さんとひろばのマッチングや母子保健事業との連携がうまくできればと思いました。

#### ○D委員

今、高校生の子どもが小さかった時に利用していました。その頃に比べいろいろな事業が増えていて、親御さんたちにとってすごく良い環境ができてきていると思いました。確かに、初めての子の時などは、こういったひろばに足を運ぶのに結構勇気が必要だったことを思い出しました。何かアピールできると良いですね。

先ほど地場産の野菜を取り扱っているJAの新鮮館の話がでました。何らかの形で一緒にアピールしていければ良いのかなと思いました。

#### ○E委員

商工会としてどんな形で関われるのか難しいところはありますが、市内事業者も情報発信が難しいといった同じような課題を抱えています。今年度はお店を紹介する短い動画の作成を試みています。ころころの森も、施設紹介の1分程度の動画を定期的に発信したり、難しいかもしれませんが、子育て関係通知、例えば児童手当の通知などに一緒に案内を同封してもらえたら良いのではないのでしょうか。

#### ○F委員

私も、市の転入転出の受付窓口に設置されているモニターや、母子保健が実施するイベント時などに、ころころの森の案内動画を流すと印象付けをできないかなと思いました。

また、講座の内容についてですが、プレさん向け、年齢別、困り感のある親子さん向けなど、色々なバリエーションがある。時代と共に、困り感のある、例えば障がいがある子どもを分けたり、みんな一緒にやっっていこうとなったり、国の動きもあると思います。一方で年齢別で集まろう、困り感が強く心配だから集まろう、という良さはわかるのですが、外遊びなど、世代の違う子供といろんな人が関わって一緒に遊ぶという場も大事だと思うので、事業についてお聞きたいです。

### ○G委員

ころころの森を利用して3年程経ちます。こういったひろばを自分から探す余裕が出てくるのは1歳前後、それ以前は、事故なく子育てをすることに手いっぱいだった。出かける場所を探そうと思えば、情報を得ることはできるのですが、探す余裕がない時期こそ、利用すると本当に子育てが助かる時期でもあったと思いました。例えば、母親教室について、全部が市役所内で実施しないといけないのかと。出産前にひろばを直接訪れる機会があれば、実際の子育ての様子を見ることや、施設の印象付けもできるのではないかと思います。また、最近は働いている妊婦さんも多いので、母親教室など参加が難しいこともあると思うが、例えば、優しい大賞のシールにQRコードと一緒に印刷するなど、紙でのPR以外の手段あるのではと思いました。また、産後訪問について、各家庭の事情もあるので、自宅だけでなく、ころころの森を借りて実施できたりしたら良いなと個人的には思いました。

### ○会長

意見を集約します。

ころころの森の周知方法。子どもに関係する日がある月の市報の紙面に乗せられないか。記事であったり、短めのインパクトのある動画のQRコードを載せたり等、工夫できないか、市と協働とのことでもあるので、検討していければと思いました。

訪問健診時に、例えば一緒にひろばやファミリー・サポート・センターについての1分間動画を見るなど、想像がつくような説明を行う、頼る場所があることを具体的な手法で伝える等ガイドラインにしてものではないかと。これはお金がかからないので良いのではと私個人として思いました。

また、市から発送される例えば児童手当の通知等に、案内動画のQRコードが記載された紙1枚を同封してもらうことはできないか、市と協働ということなので、実施可能ではと私は思いました。

市民の投票により選ばれるやさしい大賞に、JA新鮮館が表彰されました。世相が反映された側面もあると思いますが、コロナだからこそ見えてきた地域ならではの資源、地域の本質は、地域への愛着に繋がると思います。ここで終わらずに、特別サイト等で過去の受賞のものをいくつかストーリーを絡めながら伝承していくのも良いのではないかと思います。

母親学級をころころの森で出来ないかといった意見、まさに利用者だからこそその発想だと思いました。法律等何かハードルもあるかとは思いますが、ぜひ、市と協議してもらえればと思いました。

ひろばのプログラムのあり方について。年齢別や困り感に特化したプログラムの実施については、一定整理をしながら実施してきた経緯があると思いますが、F委員がおっしゃったように、ひろばの良さの一つに、年齢で分けていないことにもあると思います。これからの日本は多様な社会形成を目指していく面もあるかと思えます。子育てするという立場では、平等であり、共に子育てしていく仲間だと、利用者自身が学習していく機会を積極的に作る事。支援者側がセパレートすることによって、決して本意ではない方向へミスリードしないよう、気をつけなければいけないなと思いました。

### ○施設長

月齢別のプログラムは、コロナ禍以前よりも、2カ月や5カ月等より細かに対

象者を分けることで、より安心して、同じ時期の同じような悩みを共有する仲間作りができるといった良さがあるかと思えます。一方で、外遊びをはじめ、多年齢が一緒になって交流できるプログラムは、親が大きくなった我が子の姿を想像できたり、お子さん自身が赤ちゃんを‘かわいい‘と思う気持ちが芽生えたり、異年齢の親同士の交流が生まれる、それぞれの良さがあるかと思えます。

それぞれ良さはあると思えます。いただいたご意見のとおり、様々な世代が一緒に交流できるのはとてもよいので、コロナ禍ということも含めながら、これからも考えていきたいと思えます。

母親学級のことなど、母子保健の分野でもっところころの森を活用できないかと思っております。同じ市内、同じ乳幼児の親子さんに向き合う者同士、もっと連携を図っていく、補いながら実施できることが、子育て世代への支援につながるのではないかと念頭におきながら進めていきたいと思えます。

#### ○副会長

子育て世代に向けて、子育ては1人じゃない、見ていてくれる支援者がいると感じ取れるよう、私達も引き続き支援していきたいと思えます。

#### ○F委員

先ほど会長がまとめた、市報への情報掲載、市からの通知にころころの森の案内の同封をするなど、いくつか案があったと思うのですが、そういった意見を、市と協議した結果をこの場にフィードバックしてもらうことはできるのでしょうか。

#### ○事務局

ただ今頂戴しましたご意見につきましては、今後、関係機関において協議させていただくとともに、その進捗につきましては、第2回の議題として予定されている『令和4年度事務報告』において、指定管理者よりご報告させていただくものと考えております。

#### ○会長

法律で規定されている等、すぐに変えられないこともあるかと思えますが、本日この協議会で出た意見を運営に反映するため、ころころの森がこれからも発展していくため、やはり市との協働というのが非常に大事になってくると思えます。

では、時間となりましたので、司会を事務局へ返します。

#### ○事務局

当協議会の直接的な所掌範囲から若干外れるものではございますが、事務局よりご依頼させていただきたいことがございます。この件につきましては、次期指定管理者の選定にも関わることでありますので、現指定管理者の方々には大変申し訳ないのですが、一時、退席をお願いしたいと思います。

#### ○会長

次期指定管理者のことであれば、NPO ユニットさんに同席していただくことは、私としても不相当と考えますので、ご退席願えますか？

～～～NPO退場～～～

○会長

それでは、改めて事務局よりお願いします。

○事務局

改めましてご説明申し上げます。先ほども申し上げましたとおり、当協議会の直接的な所掌範囲から若干外れるものではございますが、事務局よりご依頼させていただきたいことがございます。今年度は条例で定める指定管理者の指定期間の最終年度にあたっておりますことから、令和5年4月1日からの新たな指定管理事業者を選定することとなります。

つきましては、当該委員会の選定委員となる『0歳から2歳までの子どもがいる子育て世帯のかた』について、運営協議会からご推薦をいただきたくお願いをさせていただくものでございます。

○会長

私としては、前回、運営協議会から代表者が出ていたことなども含め、ただいまの事務局からの提案について受けたいと思っておりますがいかがでしょうか？

～～～異議なし・委員選出～～～

○事務局

ありがとうございました。本件につきましては、意思形成過程の情報となりますので、情報の取り扱いには十分にご留意いただきますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。それでは、改めまして、現指定管理者にも入場していただきます。

～～～NPO入場～～～

○会長

議事、その他において事務局から他に連絡事項等ありますか？

○事務局

今回の運営協議会のスケジュール等についてご案内させていただきます。新型コロナウイルス感染症の拡大状況にもよりますが、現段階では、2月下旬から3月開催を予定しております。どうぞよろしく願いいたします。

事務局からの連絡事項は以上です。

○会長

事務局からの連絡は以上とのことなので、本日の運営協議会はこれで終了とさせていただきます。皆さん、お忙しいところご出席いただきありがとうございました。

## 9. その他

○事務局

- ・ 次回は、2月もしくは3月上旬に開催予定しています。
- ・ 会議録は、後日市HPで公開させていただきます。

以上